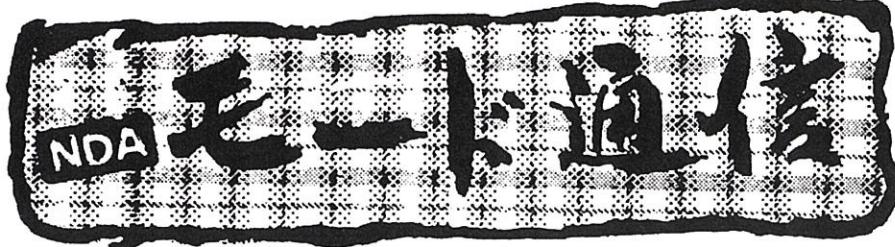


日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会

事務局 〒113-0034

東京都文京区湯島4-8-3-307

TEL (03)3814-7023

FAX (03)3814-7023

発行人 伊賀 玲子

編集人 三鉢イツ子

年3回発行 リビ 裕子

高橋 里子



新年のご挨拶

参議院議員

名譽会長 山東 昭子
(一社)日本洋装協会

新年のご挨拶

(一社)日本洋装協会

会長 中田 真理

評を得ました。

新年あけましておめでとうございます。コロナ感染も減少し、少し明るい兆しが見えてきたかなと期待していましたが、新型のオミクロン株が現れ、まだまだ油断できない状況の年明けとなりました。

昨年は、黄綬褒章に金武節子さん。現代の名工に、廣谷きくゑ副会長、青森県の佐藤千鶴子さんが受章。田中幸子さんが千葉県技能士会連合会会長賞を受賞しました。国家検定一級に6人、二級に16人が合格しました。

また、一昨年中止となりました「全日本洋装技能コンクール」を無事開催できました。初めてのユーチューブ配信も好評を得ました。

コロナ感染収束の光が少しずつ見え始めた事に油断せず、通常の活動が出来る事を願い、本年も皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうござります。世の中での活動が拡がっていることに伴い、人々も外出や人的交流に目を向けてきました。身にまとう洋服にも春の訪れを感じさせる日常が戻る予感もしてきます。そうなれば日本洋装協会の皆様におかれまして、も、いよいよ出番が回って来ると言いましようか、ご活躍の機会が大いに増えてくることを期待しています。

本年は寅年ですが、かのダイアナ妃が来日された時も寅年で、当時の丸

をイメージしたファッショニヨンが話題になりました。洋服には着る方のイメージが込められています。今までの分まで着こなしを楽しめる世の中になるよう頑張ってまいりましょう。

新型コロナウイルス感染症の収束へ向けた攻防は未だ一進一退を繰り返しておりますが、今年一年間、皆様が先ず何よりご健康で、そして素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

II NDAニュース II

<http://nihonyousou.or.jp/>

令和4年1月18日(火)

初顔合わせ・常務委員会(中止)

令和4年2月11日(金祝)

教育部新春セミナー(中止)

令和4年3月6日(日)~7日(月)

異業種交流会

KKRホテル鎌倉わかつや
出席5名

令和4年4月16日(土)

第6回クチュールコレクション
中野サンプラザ コスマルーム

令和4年5月22日(日)

第67回通常総会
中野サンプラザ

(懇親会につきましては検討中)

前回お知らせしました、3年毎に行うクチュールコレクションについて、令和4年4月16日中野サンプラザにて開催予定ですが、昨今のコロナ感染拡大状況を鑑み、実施の有無について検討しているところです。

後日、詳細について、報告いたします。

黄緩褒章を受賞して

金武 節子
(佐賀県)卓越技能賞
「現代の名工」を受章して廣谷きくゑ
(千葉県)卓越技能賞
現代の名工受章に感謝して佐藤千鶴子
(青森県)千葉県技能士会連合会
会長賞受賞田中 幸子
(千葉県)

令和三年秋の褒章に際し、図らずも黄緩褒章の栄に浴し、身に余る光榮に存じます。これも偏に日本洋装協会様始め多くの皆様方のご支援ご指導の賜と心より厚くお礼申し上げます。

去る十二月十日、佐賀城本丸にて伝達式があり、感激で身の引き締まる思いでした。褒章等とは手の届かない縁のない事だと思っておりましたが、県の推薦を頂き現実の事となり本当に夢のようです。自分の信念に基づきコツコツと続けて来た事が間違いではなかったと思えた瞬間でした。私はこれ迄、洋裁店でパタンナーやデザイナーとして勤め、三十六才で独立し、現在迄、五十五年余りを一貫して注文服での服作りに専念して参りました。

十二年前初めて出品した作品が内閣総理大臣賞となり、そのご縁で当協会福岡支部に入会させて頂きました。入会後皆様の高い技術や素晴らしい作品、又幅広い活動に触れ多くを学ばせて頂きました。そのお陰で技能グランプリ大会で優勝を果たす事も出来ました。今後は名に恥じぬ様更に精進し、残りの人生は御恩返しの日々と定め生涯現役を目指す所存でございます。

先輩、諸先生方の功績や、会員の方々の作品を見る事は大変勉強になり、励みになります。

全国多業種150人が今年度名工に選ばれ、その中の現代に生きる名工の1人として、熟練者や専門校生、高校生への指導の継続、技能の継承、持続、向上して参りたい所存です。

令和3年11月厚生労働大臣より卓越技能賞「現代の名工」を受章しました。20代より、洋裁研究所とプレタ製作所でのアルバイトをきっかけに、洋裁を職業として選び、アトリエとして受注。

この度の受章は、与えられた素材、その物本来持つている風合い、光沢、織りの特色があり、持ち味そのものを活かして、服作りに長年真摯に向き合ってきた功績に対する受章と感謝しております。

40代で、国家技能検定を機に日本洋装協会と出会い入会、現在に至る迄、長きに渡り多くの役職を拝命し、運営に協力させて頂きました。この度、推薦頂きこの上ない栄誉ある受章に際し、会長をはじめ日本洋装協会の皆様に心より御礼申し上げます。

先輩、諸先生方の功績や、会員の方々の作品を見る事は大変勉強になり、励みになります。

全國多業種150人が今年度名工に選ばれ、その中の現代に生きる名工の1人として、熟練者や専門校生、高校生への指導の継続、技能の継承、持続、向上して参りたい所存です。

この程、千葉県技能士会より会長賞を頂き、千田先生初め皆様に感謝申上げます。4年間の学生時代に諸先生方から学び得た知識を基本に、更に多方面から学識を吸収しようと模索しているうちに幾つかの関連した事柄に夢中になりました。その奥深さの追求心は、これで良しこと満足する事は無く、全てが洋裁の知識が根元に有つた事が幸運に繋がったと確信しております。

これからも諸先生方の御指導を承りたく強く思うのと、多方面に興味を持ち楽しみながら最高の仲間と学んで参りたいと思います。

これまでの経験を活かして、洋裁の技術をより深め、幅広い分野で活躍できるよう努力してまいります。また、洋裁の技術をより多くの人に伝えるため、講習会やセミナーなど積極的に活動してまいります。

受検者募集案内	検定部
令和四年度前期技能検定願書受付	
婦人子供服製造注文服製作一級二級	■ 申し込み受付日
4月上旬～中旬	■ 申し込み・問い合わせ
検定部 白井迄	042 (364) 3946
☆各教室、アトリエで纏めて申し込み下さい。用紙をお送りします。	
検定部の講習会	
検定にも実践にも役立つテーマ	
コースI 「毛芯仕立てのテーラード	コースII 「オーブンカラーのブラウス」
申し込みの方には後日、日時の御案内をお送りします。	

ラティススモッキンで
作ったストール

井上 栄子（山口県）

ラティスとは格子窓・格子形紋章という意味です。生地の裏にマス目を書き、裏を見ながら縫い締めていきます。

斜めの部分を縫い締めたら、糸を留めて切れます。この繰り返しです。模様が複雑に見えても作業は簡単です。生地はサテンが一番適しているように思います。

★基本の刺し方順序

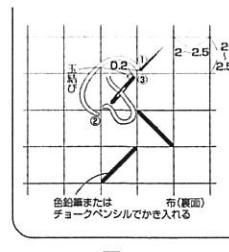
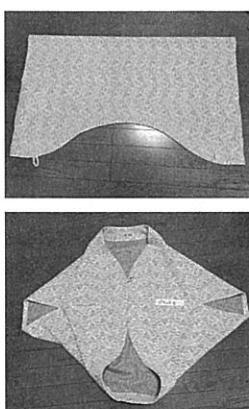
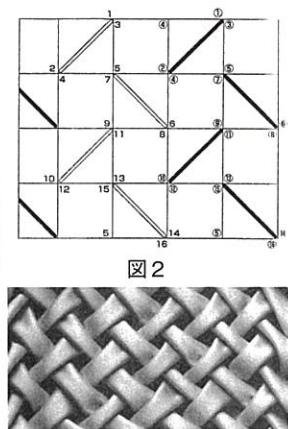
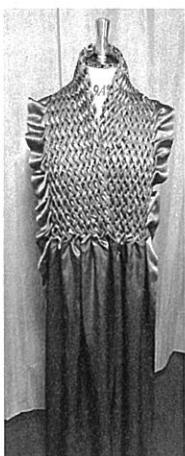


図1

図2

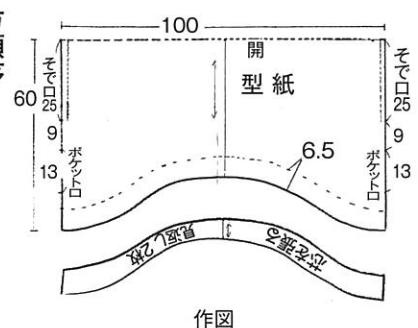
図3

★基本の格子の対角をすくっていく方法



図

- ①袖口の下9cmとポケット口の下～裾までを反対側と合わせて縫う
②ポケットに袋布を付ける
③見返しに芯を貼る。付け線ではない
④6・5cm見返しを1周付ける
⑤好みでボタン、ループを付ける

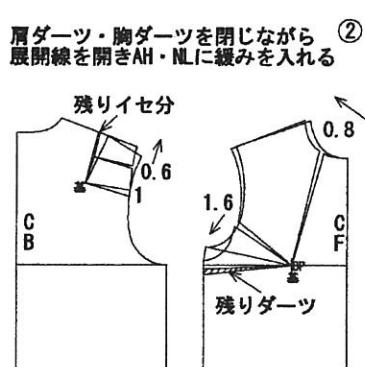
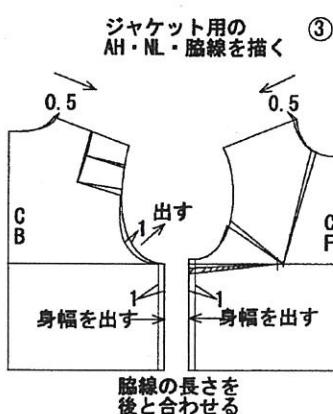


作図

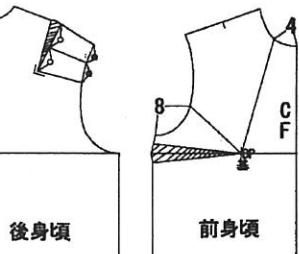


かんたん洋裁
気軽に羽織れるジャケット
三鉛イツ子

身頃原型をジャケット原型に
展開する方法
リビ 裕子



展開線を描く



①

②



金賞の作品（田代まどか）

東京都代表の藤澤勇慈君（技能コンクール入賞者）が見事金賞に輝きました。

金賞 田代まどか（宮崎県）
銀賞 笹埜 侑花（岡山県）
銅賞 森 莉菜（岡山県）
敢闘賞 俵原 優実（広島県）
大良 彩華（宮崎県）
古地 薫（静岡県）

12月18・19に第59回技能五輪全国大会と第41回全国アビリンピックが、東京ビッグサイトで行われました。東京開催という事で、今年のジャケットの色は、明るい紫色で、東京都の大会旗からイメージされました。ポケットは国際大会のルールに近づける為、3種類の中から当日抽選して片玉フラップポケットに決まりました。22名の精鋭達が技を競いほぼ全員が完成しました。

第59回技能五輪
全国大会開催
競技委員 白井富美子

REPORT
N.64

ものづくり・匠の技の祭典 オンライン開催

高橋 里子（東京都）

「アズマ・ソーイング・
コネクション」開設

佐藤 順子

ものづくり・匠の技の祭典が令和3年12月18日・19日の2日間にわたり国際展示場（ビッグサイト）でオンライン開催されました。サポートはnon・noモデル、女優で活躍している武田玲奈さん。盛り上げ隊は吉本の人気芸人、尼神インター（ヤンキーとホンコン）さんが紹介され、後にリアルタイムで匠の技の実演を盛り上げてくれました。技能五輪・アビリンピックの公式マスコットキャラクター（わざねこ）も、駆けつけてくれました。

今年は技能五輪・アビリンピックと、ものづくり・匠の技の祭典が同時開催であり、世界に誇る、日本の熟練技能者たちの匠の技がここ、ビッグサイトに一同に集結しました。

日本洋装協会も、様々なイベントに参加いたしまして、初日のステージではオートクチュールコレクションタクミジヤパン2021に参加、3団体の作品30点をファッショショーン形式で披露しました。

セポーターの武田玲奈さんは鈴木真紀子さんの製作したウエディングドレスを着装して華をそえていただきました。

アトリウム展示会場では、コンクール入賞作品、小幡、広谷、三鈷、中西、中林さんの5点を展示し、オンラインの作品紹介では、製作者ご本人による



展示作品5点

イン開催されました。サポートはnon・noモデル、女優で活躍している武田玲奈さん。盛り上げ隊は吉本の人気芸人、尼神インター（ヤンキーとホンコン）さんが紹介され、後にリアルタイムで匠の技の実演を盛り上げてくれました。技能五輪・アビリンピックの公式マスコットキャラクター（わざねこ）も、駆けつけてくれました。

今年は技能五輪・アビリンピックと、ものづくり・匠の技の祭典が同時開催であり、世界に誇る、日本の熟練技能者たちの匠の技がここ、ビッグサイトに一同に集結しました。

日本洋装協会も、様々なイベントに参加いたしまして、初日のステージではオートクチュールコレクションタクミジヤパン2021に参加、3団体の作品30点をファッショショーン形式で披露しました。

セポーターの武田玲奈さんは鈴木真紀子さんの製作したウエディングドレスを着装して華をそえていただきました。

アトリウム展示会場では、コンクール入賞作品、小幡、広谷、三鈷、中西、中林さんの5点を展示し、オンラインの作品紹介では、製作者ご本人による

プレゼンテーションも行われ「緊張した」との感想でした。

当協会からの視聴者プレゼントとして、服や小物等5種類をそれぞれ抽選で一名様に、マスクカバーを30名に提供させて頂きました。

動画配信は実演や匠視点で語られるこだわりなど、普段知ることのできない「衣・食・住・工業」における繊細な手仕事の裏側が紹介されました。

私自身もこの祭典のお手伝いをしま

したが、匠の技がいかに、美しいものを生み出しているのかを再確認することができました。

次の世代へ、未来へとしっかりと匠の技を継承していくためにも、

ミシン糸一本から、また裏地・芯地・テープなど縫製に関する付属品・雑貨はもちろん、カタログも多数置いてあります。今まであつた（取り扱っていた）お店も少なくなり付属品を探すのも大変になってしまいます。アズマさんなら、全て揃います。

また東京本社ビル三階では、大型ス

キヤナード・プロッター、工業用ミシン、バキュームアイロン、芯貼り機などの設備を整え、当協会副会長であり現代の名工、ものづくりマイスターである稻荷田征先生による「ワークショップ」を開設、服作りに関するすべての事が相談できます。また施設利用（有料）だけでももちろん可能。糸屋だからこそ挑戦できる、創りたい人と作る人の結び目づくりです。

詳しくは「アズマ・ソーイング・コネクション」ホームページよりお問い合わせください。

詳しく述べてください。

アズマ株式会社

アズマ・ソーイング・コネクション（A.S.C）

〒111-0056 東京都台東区小島2-1-1

TEL: 03-3861-2229

FAX: 03-3861-7107

Mail: asc@azuma-jpn.com

URL: http://asc.azuma-jpn.com/担当 鶴木



ブランド立ち上げや洋服の生産などを、要望に合った相談もできます。

アズマ株式会社
アズマ・ソーイング・コネクション（A.S.C）
〒111-0056 東京都台東区小島2-1-1
TEL: 03-3861-2229
FAX: 03-3861-7107
Mail: asc@azuma-jpn.com
URL: http://asc.azuma-jpn.com/担当 鶴木



ワークショップ参加

TUKURU(株)さんは、「自分のブランドを作りたいインフルエンサー」と「洋服を作れる技術者」を組み合わせて、自分自身のサービスのアプリ「tucourure(ツクール)」を作っています。最近は、人気Youtuberの方が洋服を作り販売している成功例が多くあります。これからは、SNSを活用し、誰もが自分のブランドの洋服を作り販売する時代がやってきます。Youtuberの次は、インフルエンサーが自分のブランドを作成する時代がやってきます。

これまでの時代、多くのインフルエンサーが自分のブランドを制作可能にするアプリがtucourre(ツクール)です。自分の持っている技術を活用し、「技術者」として登録してみませんか?「TUKURU」さんにお問い合わせ下さい。

担当 赤沼健太郎
TEL: 03-6222-9582
尚、登録に関しては協会は関与しておりませんので個人の判断でお願い致します。